

# TOKYO BAY CUP ' 2022

(東京ベイカップヨットレース = T. B. C)

## SAILING INSTRUCTIONS

### 【帆 走 指 示 書】

【DP】表記は、その規則の違反に対するペナルティーを、プロテスト委員会の裁量により、失格より軽減することが出来ることを意味する。

1. 規則：
  - 1-1 【DP】競技者及び支援者は、主催団体・レースオフィシャルズからのあらゆる合理的な指示に従わなければならない。従わない場合、不正行為にあたる可能性がある。ここでいう「不正行為」とは規則69にいう不正行為を指す。
  - 1-2 COVID-19 対策のための指針やガイドラインなどを実践する目的でレースオフィシャルズがとった合理的な行動は、必要のない行動であったと後に判明したとしても、不適切な処置や不手際にはあたらない。
  
2. 大会の中止等：
  - 2-2 海面使用不許可等の理由で中止の場合は、開催日より一週間前までにT. B. C公式掲示板に掲示する。
  - 2-3 当日悪天候の為中止をする事がある、(めやすとしては15m/s以上の風速、波高1.5m以上等) 中止の決定は当日08:00までに行う。
  
3. レースエリア：

本シリーズレースは、東京ディズニーランド沖、N35° 35' E139° 53' 付近で行う。

4. チェックイン：

4-1【DP】参加艇は当日スタートの予告信号までに、JSAF 大エンサインを掲げた本部艇にセールナンバー又は艇名を確認させること。

4-2【DP】予告信号までに申告出来なかった艇も、参加する艇は本部艇に確認させる事。

5. スタート予告信号：

5-1 最初のレースのスタート予告信号は10：25予定。

5-2 第二レースが行なわれる場合のスタート時間は本部艇の旗で指示する。

6. コース： 上下ソーセージコース、1レース4レグ、

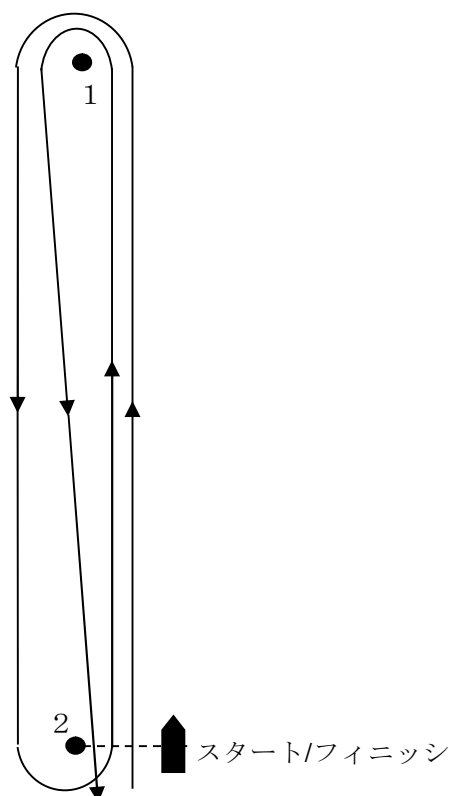
6-1 原則として1日2レースを行う予定だが、本部艇に掲げられた数字旗で当日行なわれるレースの数を示す。

6-2 数字旗1が掲げられている場合 1レースを行なう。

6-3 数字旗2が掲げられている場合 2レースを行なう。

6-4 1レグの距離は {約0.5マイル~1.0マイル} その日の風速等によってレースコミッティが決定する。

コース図



7. マーク： 全てのマークは、一辺が約 1.4 m のオレンジ色の三角錐のものを使用する。

8. スタートライン

： オレンジ旗を掲揚している本部船のポールとリミットマークとのコース側の間とする。

9. スタート信号までの時間

(分)	視覚信号	音響信号	意味
5	J S A F クラブバージ旗	1 声	予告信号
4	P 旗、I 旗、Z 旗、I 旗と Z 旗、 U 旗、黒色旗	1 声	準備信号
1	準備旗降下	長音 1 声	1 分
0	J S A F クラブバージ旗降下	1 声	スタート信号

10. リコール： 10-1 個別のリコール艇があった場合には音響信号 1 声と共に X 旗を掲げる、X 旗の掲揚は、全ての個別リコール艇がスタートラインまたはプレスタートサイドに完全に入るか、あるいはスタート後 4 分間の何れか早い方とする。

10-2 ゼネラルリコールの場合、音響信号 2 声と共に第 1 代表旗を掲げる。

10-3 新たなスタートの予告信号は第 1 代表旗降下（音響信号 1 声）の 1 分後に発せられる。

10-4 U 旗又は黒色旗が掲揚された場合には、スタート信号前の 1 分間に、艇体がスタートラインの両端と最初のマークとで作られた三角形の中にあってはならない。艇がこの規則に違反して、特定された場合には、その艇は審問なしに失格とされなければならない。ただし、U 旗の場合はレースが再スタートまたは再レースとなった場合は、失格としてはならない。

1 1. コースの次のレグの変更：

コース変更があった場合は、反復音響信号と共にC旗またはボードを掲げ、新しいコンパス方位を指示する。レグを短縮する場合は「-」を、レグを延長する場合には「+」を掲示する。

1 2. スタート後のコース短縮：

12-1 スタート後のコース短縮の場合は、短縮信号を発する（音響2声と共にS旗を掲揚）。

12-2 この場合、回航マークとS旗を掲げた本部艇のポールとの間でフィニッシュする。

12-3 S旗を掲げた本部船のポールに青色旗を掲揚する場合がある。

1 3. フィニッシュ：

13-1 フィニッシュラインは、ブルー旗を掲揚している本部艇のポールと、フィニッシュマークとのコース側の間とする。

1 4. 抗議及び救済：

14-1 抗議する艇は艇の見やすいところに赤旗を掲げ抗議の意思を表す事ができる。

14-2 抗議の意思を表した艇は、所定の抗議書を当該最終レースのフィニッシュ後1時間30分以内にレース本部に提出する事。

14-3 TBC独自のPHRFのレーティング<sup>g</sup> に対するの救済要求、抗議等は認められない。

14-4 当日行なわれたレースの回数に対するの救済要求、抗議等は認められない。

14-5 抗議に対する審判は、TBCプロテスト委員会が行い、詳しくは後日連絡する。

1 5. 失格に代わるペナルティー：

15-2 規則31に違反したかも知れない艇は1回転ペナルティーを履行することができる。

15-3 艇は、インシデントの後できるだけ早く他の艇から十分離れた後、1回のタックと1回のシャイブを含む回転を、同一方向に必要な数だけ速やかに行うことにより2回転または1回転ペナルティーを履行したこととする。

16. 帰着申告：

16-1 フィニッシュした艇は、フィニッシュにより帰着申告とする。

16-2【DP】リタイヤ又はフィニッシュ出来なかった艇は、必ず本部艇に連絡する事。何らかの理由で本部艇に連絡出来ない時でも、当日15:00 までには必ず陸上本部に、当該艇の責任者が電話連絡する事。

17. 結果の発表：

17-1 レース結果（暫定の場合もある）をメール等で参加艇に連絡すると共に JSAF 加盟団体 外洋東京湾のウェブサイトに掲載する。

<https://jsaf.tokyo>

17-2 当該レースの結果は後日、舵誌に掲載する。

18. 順位の決定：

18-1 順位は標準得点方式とし、TBC独自のPHRF（TCF）タイムオンタイムにて算出する。

18-4 コミッティを行った艇のそのレースの得点は年間参加レースの平均点数とする。

18-5 各艇のシリーズの得点は最も悪い得点を除外しない。

（付則A A2の変更）

19. レース本部：

レース前日 22:00迄：090-4940-4726（斎藤晴彦）

レース当日 陸上本部：浦安マリーナ047-355-2222

海上本部：本部船 080-6513-3742

国際VHF 74チャンネル

20. レースの有無の問い合わせ：

天候等で判断がつきにくい場合は当日、07:00以降 090-4940-4726（斎藤晴彦）迄。

21. レースの運営

レースコミッティは原則として参加艇が順番で運営を行う、運営を行ったレースの得点はSI.18-4とする。

以上

## 参加各位

- 1) TBC参加艇は年間エントリー費として5,000円を2022年3月1日(火)までに下記の口座に振り込むと同時に、参加申込書並びに主催者・共同主催者契約書、TBCレーティングエントリーフォームに必要事項を記入して、斎藤晴彦宛にメールに添付して申し込むかFAXすること。  
その他の必要書類も第1戦開始日までに下記に送る事。  
E-mail [hayabusa@cc.mbn.or.jp](mailto:hayabusa@cc.mbn.or.jp) (FAX番号 047-711-1543)
- 2) 2020年3月1日(火)迄に申し込みのない艇もシリーズ参加を認めます。  
但し、別途事務費¥2,000加算し、¥7,000円となります。
- 3) 毎回の参加費は2,000円(1日レース分)とし、原則的にはレースの2日前までに振込むこと(数回分まとめて可)。

振込み先 三井住友銀行 千葉支店 普通  
066-7756434  
TBC事務局 畑田晴彦 宛

前もってレースが中止になった場合、先払いの参加費は次回分に繰り越すものとします。(当日、本部船並びに参加艇が出航し、何れかの理由によりレース海面で中止になった場合の参加費は返還致しません)

また、参加艇の都合での返却は致しません。

- 5) 参加費を1回以上滞納した艇のエントリーは受け付けません。
- 6) 帆走指示書は、インターネットで外洋東京湾のウェブサイトから取り出してください。 <https://jsaf.tokyo>
- 7) レース当日の連絡を円滑に行なう為、及び安全管理の意味で、各マリーナに連絡担当の艇を決めてもらい、中止の決定等の問い合わせ、及びレース艇の帰港状況を報告していただきます。
- 8) 12月10日(土)のTBC表彰式・パーティ(場所は未定)にも是非ご参加下さい。